



■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

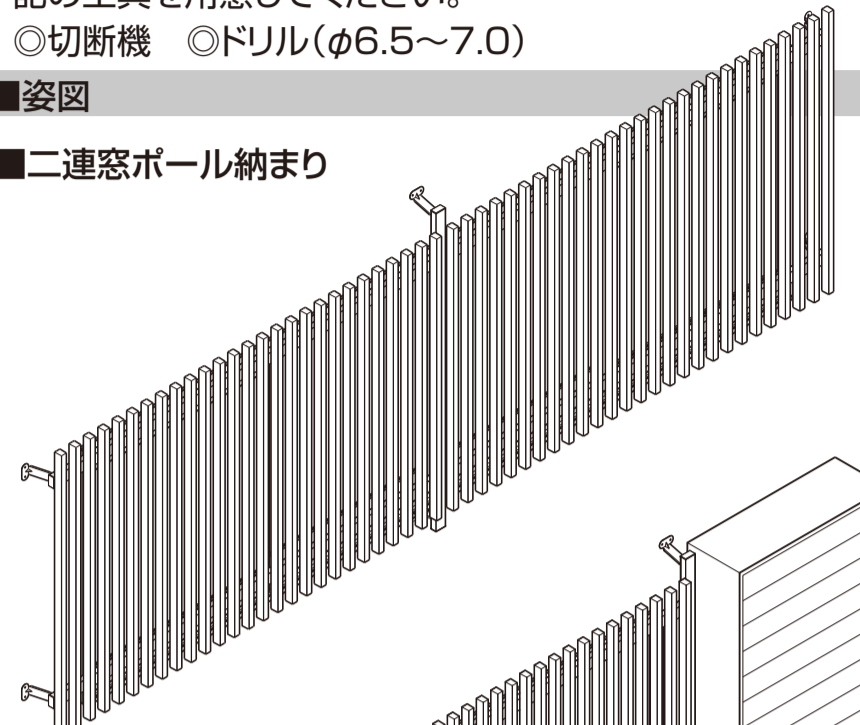
- 面格子の落下・転落防止のため、下記次項を厳守してください。
 - ・面格子は手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がありません。
 - ・当製品は木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
 - ・取付け前に必ず、柱・間柱の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
 - ・壁厚が30mm以上の場合は、必ず厚壁用のねじを使用してください。
 - ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ブラケット台座・ねじ類を、指定の数量使用してください。
 - ・外壁のガイド穴は、柱まであけないでください。
 - ・取付けは必ず指定のねじを使用し、外壁だけでなく必ず柱等の躯体にねじ止めしてください。
 - ・下穴(躯体側)はφ3.5mmのドリルを使用してください。
 - ・雨戸サッシへの取付けに際しては、躯体へのかいものが必要となります。
- 下穴(躯体側)には必ずコーキング材を充てんしてください。
(コーキング材を充てんしないと漏水の原因になります。)

■施工上のお願

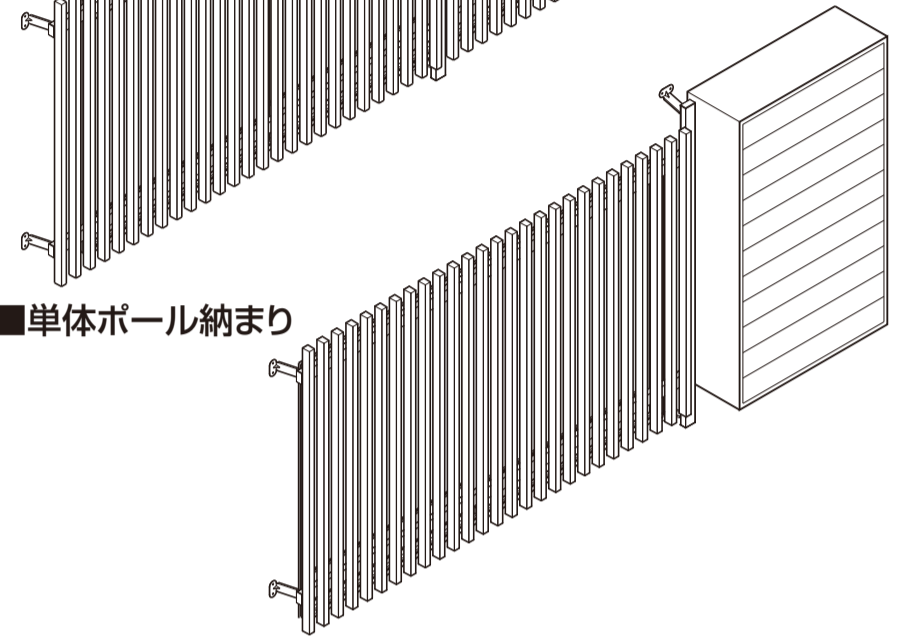
- 本部品(ポール)は、和風面格子花伝・やまと専用です。他の製品には取り付けられません。
- ポールは、切断及び穴開け加工が必要となります。事前に下記の工具を用意してください。
 - 切断機 ○ドリル(φ6.5~7.0)

■姿図

■二連窓ポール納まり

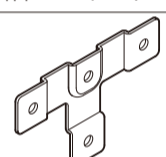
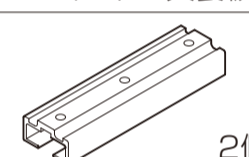
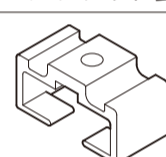





■単体ポール納まり



■部品の確認

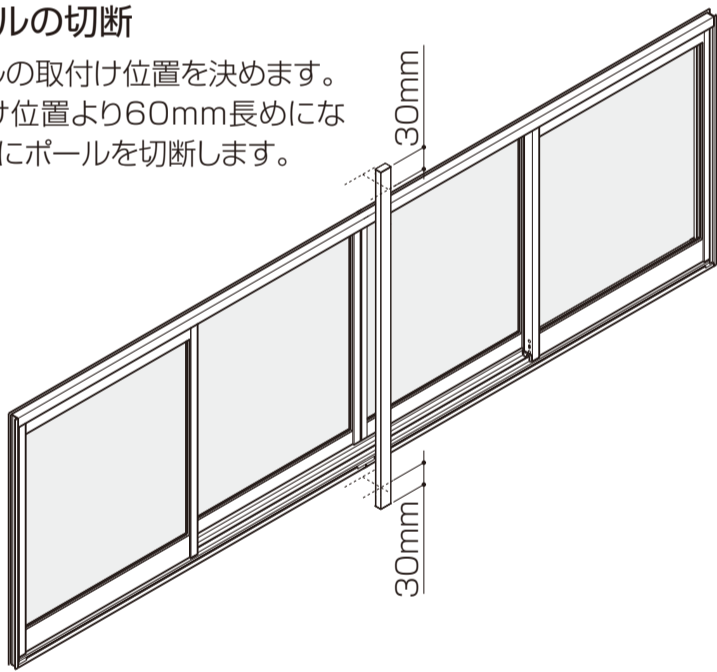
●取り付ける前に部品の確認をしてください。
※ポールによる取付けは、右表の部品の他に面格子本体のブラケット及び取付けねじを使用します。

①	㊦	㊨	㊩	㊰	㊱
連結ジョイント金具	ジョイント金具裏板	ブラケット裏板	端末キャップ	ナベ小ねじM6×10	トラス小ねじM5×10
 2個	 2個	 2個	 2個	 8本	 2本

■取付け順序

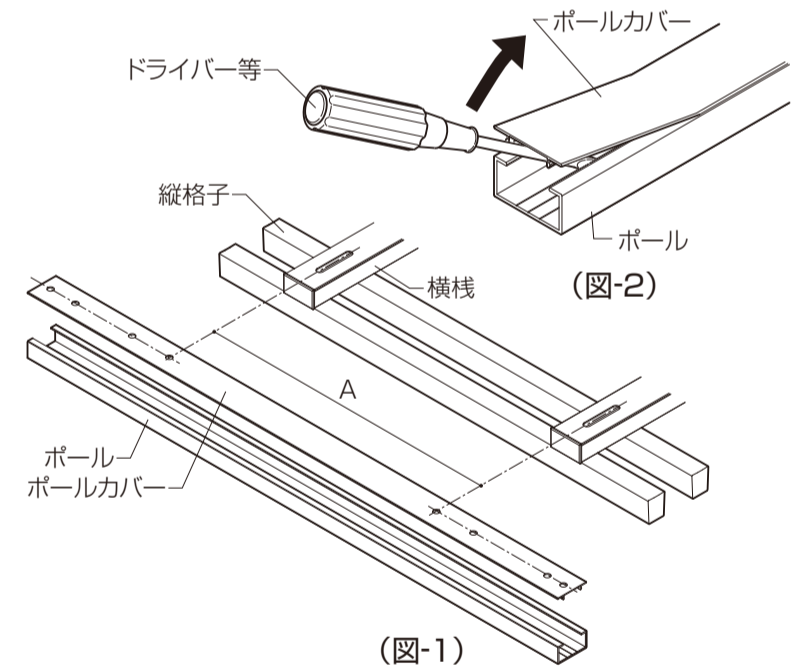
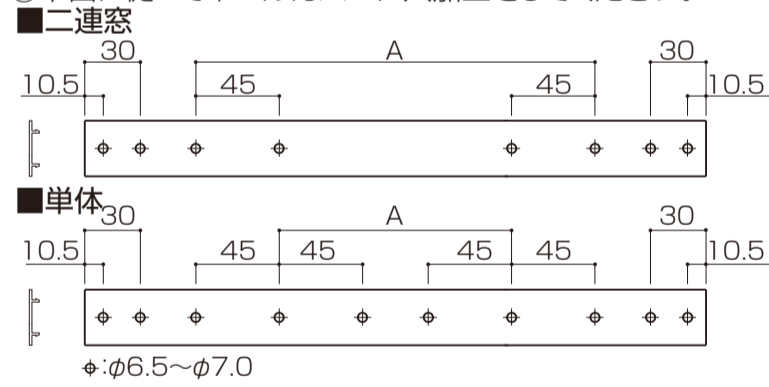
1 ポールの切断

- ①ポールの取付け位置を決めます。
- ②取付け位置より60mm長めになるようにポールを切断します。



2 ポールカバーの穴あけ加工

- ①面格子本体からA寸法を実測します。(図-1)
※A寸法はできるだけ正確に測定してください。誤差が大きいとポールが取り付けられなくなりますのでご注意ください。
- ②ポールからポールカバーを外します。外しにくい場合は、(図-2)の要領で外してください。
- ③下図に従ってポールカバーに穴加工をしてください。



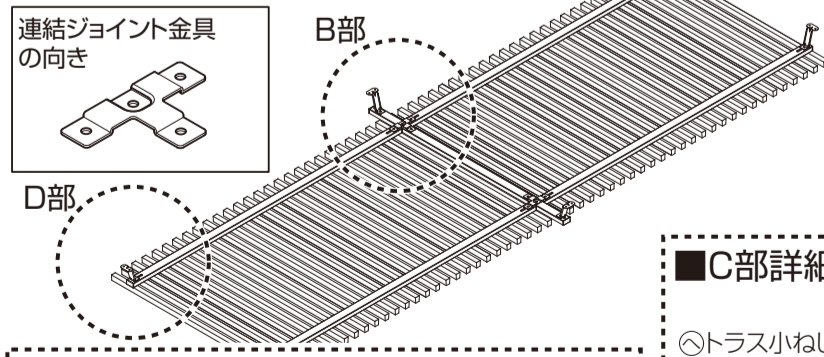
3 ポールと面格子の組立て

※連結ジョイント金具は下図のように二連窓・単体ポールの納まりによって向きを変えて取り付けてください。

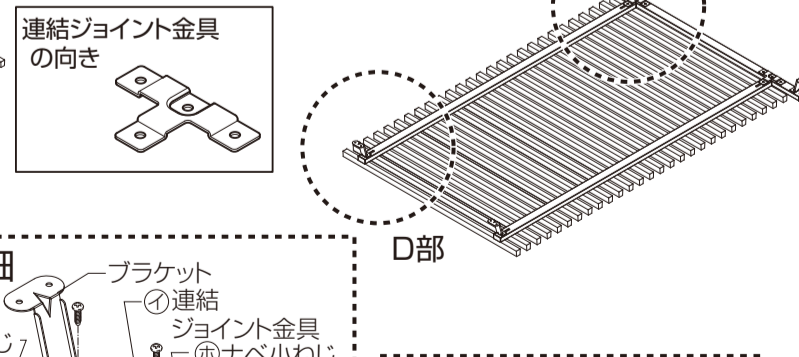
■組立て詳細

- ①ポールに㊦ジョイント金具裏板・㊨ブラケット裏板の順で各1個ずつ両端より差し込みます。
- ②ポールカバーをはめ、㊠連結ジョイント金具と㊰ナベ小ねじ(M6×10)で面格子とポールを固定します。
- ③ブラケットをポール及び面格子にねじ止めします。(二連窓のときブラケットが2個余ります。)
- ④㊩端末キャップを㊱トラス小ねじ(M5×10)でポールに取り付けます。

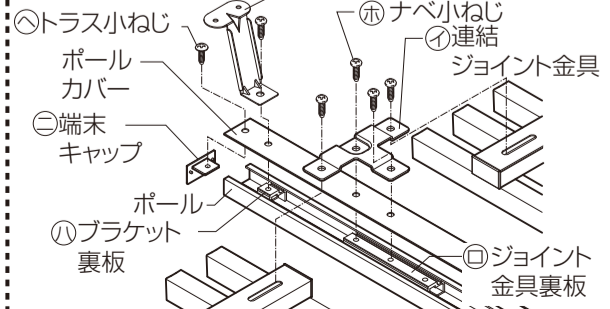
■二連窓ポール納まり



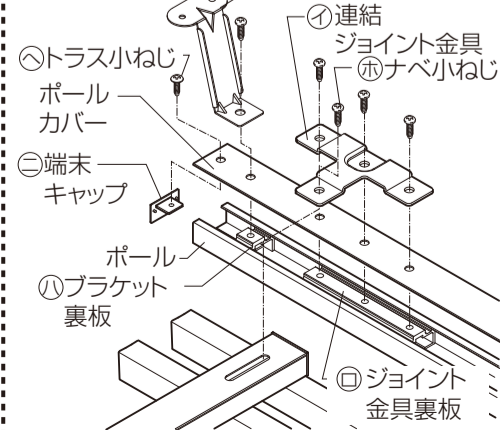
■単体ポール納まり



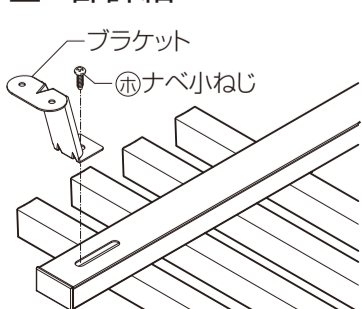
■B部詳細



■C部詳細



■D部詳細



4 躯体への取付け

- 各ねじ穴位置に下穴をあけ、コーキング材を充てん後、トラスタッピンねじ(φ4×70)で、躯体に取り付けます。

▲注意

- 必ずコーキング材を充てんしてください。

